

いま聞きたい!!

生活行為向上マネジメントスキルアップ研修会

クリニカルクラークシップによる実習指導のコツと 生活行為向上マネジメントの活用



講師

小林 幸治 先生

<講師紹介>

早稲田大学第一文学部在学中、肢体不自由児へのボランティア経験から作業療法士を志し国立療養所東京病院附属リハビリテーション学院卒業。横浜市立脳血管医療センター(現:横浜市立脳卒中・神経脊椎センター)、医療法人康心会ふれあい町田ホスピタル(科長)などで急性期・回復期・療養・老健で臨床経験。

筑波大学大学院教育学研究科(修士:リハビリテーション学)、首都大学東京大学院人間健康科学研究科(博士:作業療法学)を経て、現在、目白大学保健医療学部作業療学科(臨床実習業務統括)ならびに同大学院リハビリテーション学研究科准教授。大学教育のかたわら、訪問看護ステーションや障害者支援施設で臨床活動を行う。

JAOT 教育部養成教育委員会(委員)、日本作業療法教育研究会(理事)、クリニカル・クラークシップに基づく作業療法臨床教育研究会(事務局長)など。

<著書>

『高齢期障害領域の作業療法第2版』(中央法規, 分担),

『今こそ変えよう作業療法実習 作業療法のクリニカルクラークシップガイド』(三輪書店, 編著) など

平成 30 年 11 月 11 日 (日)

9:00~16:00

会場: 沖縄県総合福祉センター

(沖縄県那覇市首里石嶺町 4-373-1)

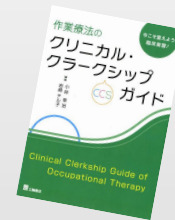
参加費: 沖縄県作業療法士会 会員 1000 円、

非会員 5000 円

(生涯教育基礎ポイント 7 ポイント付与)

内容:

- 1.MTDLP で対象者の習慣化や参加を進めるためには
- 2.CCS 方式による臨床教育(OJT)のコツ
- 3.MTDLP を用いた CCS 方式臨床実習
- 4.グループワーク



<今後の臨床実習指導>

2018 年 4 月に理学療法士・作業療法士指定規則改正に伴い、臨床実習のあり方についても見直され「診療参加型臨床実習」の導入が求められるようになった。

また、作業療法臨床実習の手引き(2018)では、「学習の基本は模倣である」とし、実習指導者の指導・監督のもとで臨床チームに参加し、実習指導者を(モデル)として、許容範囲の臨床体験を重ねることで、作業療法士としての基本的態度・臨床技能・臨床思考過程を習得していくという指導=学習形態をとる。これはクリニカルクラークシップの概念に類似するとしている。

【参加申し込み】右の QR コードの申し込みフォームより各項目入力ください。申し込み完了後、後日メールにてご案内いたします。

URL: <http://bit.ly/2ue8nxc> (申し込み期日 11 月 9 日 17:00 まで)

【お問い合わせ】 mtdlp_yui@yahoo.co.jp (伊波・忽滑谷)

